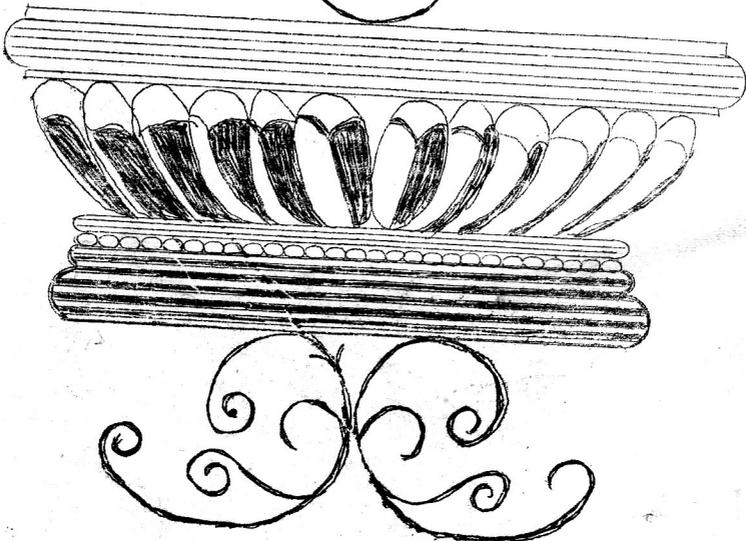
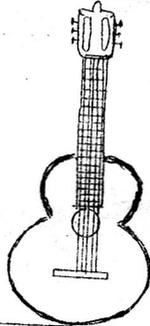


和音

NO I

UNIV KANAGAWA

Classic Guitar Ensemble Club



1967

きたる弾く

きたる弾く

ひとりしおもへば

たそがれは音もなくあゆみ

石造りの都会

またその上を走る汽車

電車のたぐひ

それら音なくして

過ぎゆくごとし

わか愛のこときも

永遠の歩行をやめず

ゆくもかへるも

やさしくなみたにうるみ

ひとびとの瞳は街路にとぢらる。

ああいのちの孤独

われより出でて徘徊し

きたる弾くひと

萩原朔太郎作

歩道に種を蒔きてゆく

種を蒔くひと

みづを撒くひと

光るしゃほのひと

その子供

しぬびあるきのたそがれに

眼もおよばぬ東京の

いはんかたなきはるけさおほえ

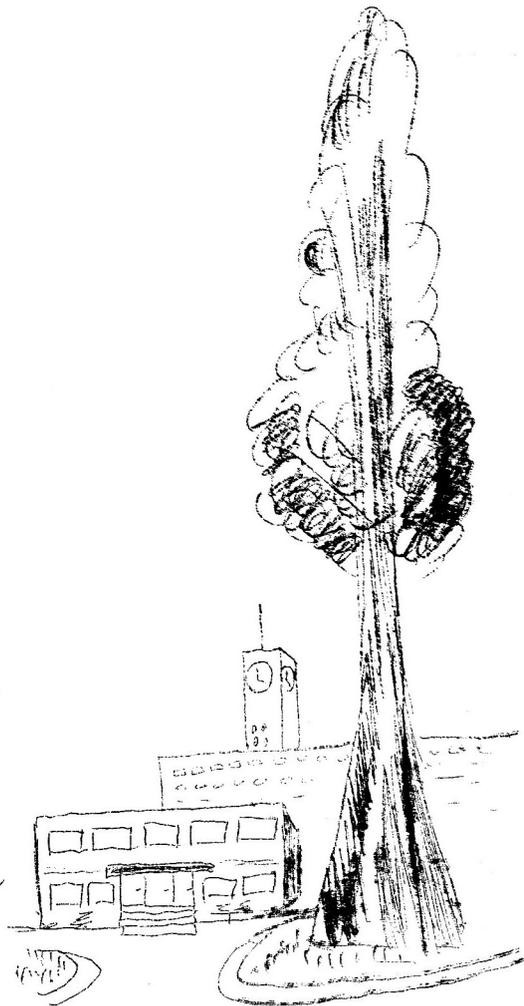
きたる弾く

きたる弾く

「朔太郎のうた音楽詩篇より」

目次

	P 1
詩	
権利と義務	3
調和	5
同好会のころ	6
オセリスと私	9
新入生の言葉	13
先輩からのたより	15
機関創刊に当り	17
ゆかりな小出合宿	18
春期合宿日記より	22
ヒューズ	23
音楽諸君へ	24
ニッケター	29
第一回定期演奏会	30
過去における演奏会に おけるプログラム	32
ギター音楽と私	38
42年度計画予定表	39
ソロフェニショナル	41
ヒューズ	43
ギターの豆知識	44
ギター連盟について	45
クラブ活動の目的意識	46
ヒューズ	47
ギターの豆知識	48
みんなの声	50
編集部からのたより	51
文芸欄	52
久向の壁	
無題	55
ギターとスクリーン	60
神戸大学ギターアソシエーション	62
組織について	
編集後記	64



権利と義務

部長 桐ヶ谷繁

ここで言う権利、義務とは、別に大げさなものではない。

「権利すなわち「特権」であり、「行なうても良い」、「することが出来ると言った、ごく単純なもので、これと同様「義務」も、「行なりべきこと」、「行なわなければならぬこと」である。

では、なぜこの様なことを改めて言いたしたかと言うと、今のクラブを見るとこの二つの区別がつかっていない様である。出席のこと一つを取って見ても言えることだが、クラブ員になつた時から、クラブに出席する「時権」と共に「義務」が生ずるのだ。

クラブ総員が百名にふくれ上つた今日

では、お互の願、名前を覚えただけでも大変であり、この様な時にクラブへ出てこない日が続くと、部員間にミゾができて、一旦できてしまったミゾを越すのは大変である。こんなことが原因となり、クラブ自体もお面白くなくなる。町のギター教室ではなく、このギターアインサンアルに入つた以上、ギター技術の向上よりもまずクラブの雰囲気を楽しむてもらいたい。

あるクラブでは練習が毎日あり、無断欠席をするると退部とのこと。この様に型にはまった事務的な方法を取るのか一番簡単なかもしれない。しかし、二十才前後の我々にとつては、物事にしほられるのが、たまらぬ時期である。その様な時にも助言を与えるが、決して強制はしないつもりだ。あとは二十才前後である諸君の

IV 7 自覚に任せる。

従って、ある面では多くの自由がある
と思う、それと共に、この自由には絶え
ず責任が肩を並べていることを身をもっ
て知ってもらいたい。

私自身、部長になつて痛感したことは

「自由とは、責任と言う鎖でつながれ

不自由で動きづらいた」ということ

である。この様なことで、一歩離れた所

から冷静な目で見ている諸君にとつては、

私の、あまりいは我々役員の仕事かきを歯

かゆく思うことが、ほしほあはすた。

その様な時には口を閉ざらず、自ら我々

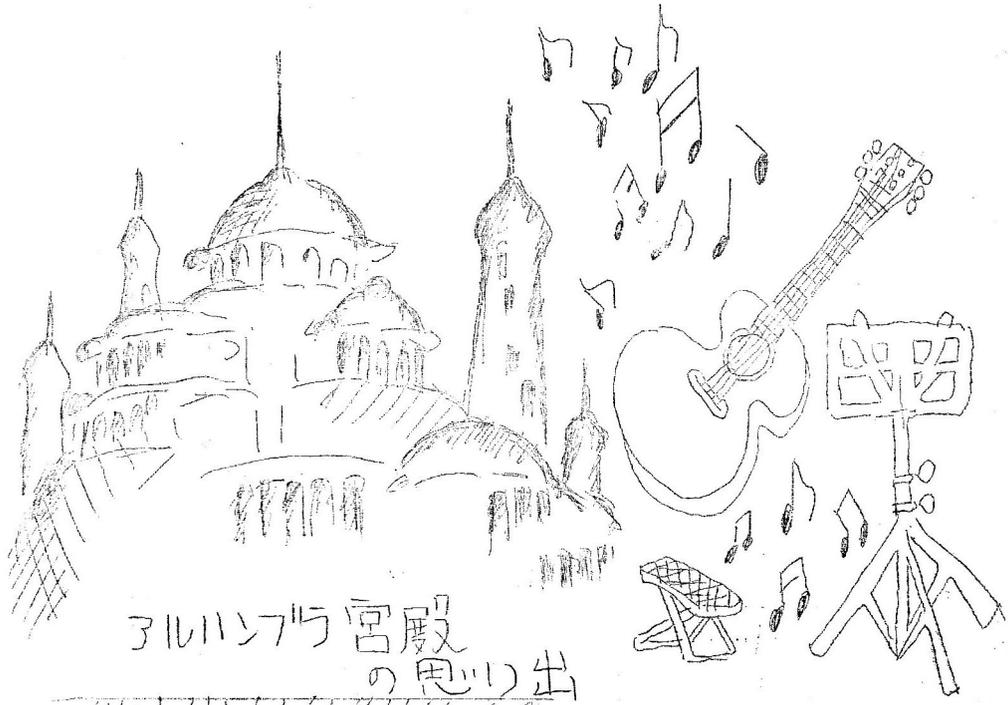
に意見をぶつけてもらいたい。それによ

つて役員としての我々の目からではなく、

広く、公平な目をもつた諸君が見たク

ラアを知ることが出来、良いクラブの運

営もできるのではなうだろうか。



調和

指揮者

経路 小久江迪雄

調和とは何か、それは辞典によると、

ほどよく和合することとでている。集団

でひとつの創造物を作りあげる場合、そ

こには個人々の力量が、思う存分発揮

され、それらの力のバランスが保持され

なければならぬ。そこには集団のリー

ダーシップをとる個人が必要とされるの

である。その個人には、他の各個人の力

の相違をみきわめ、バランスのとれた集

団を作るよう努力することが肝心である

。ここにおいて、その集団の力量が最大

限に発揮され、すぐれた創造物を作り出

されるのである。いいかえれば、この力

量のバランスこそまことに調和というも

のである。

我がギターアンサンブルについて考えて

みると、すなわち、集団とはギターアン

サンブル各個人であり、その個人とは指

揮者である。各個人はアンサンブルを

りたてるために、自分に課せられた事柄

すなわち、その課せられたパートに

して責任を持ち、その目標を達成でき

ように努力すべきである。これらをよく

理解することは、ある集団の団結力を一

層強いものにさせるのに必然とされる

柄であろう。これらの力の集中とその

向を左右するのは、とりもなからず指

揮者のものである。しかし、各個人に

いて、その集団の目標に対して非協力的

な態度と行動をとった場合は、不協和

とならざるをえないであろう。これらに

対して、指揮者が集団の行動を集中させ

ようを努力して、それらを達成させる

NO. 6
 好きなところがある。二要素である。集団は自己の課
 題を解決した事柄に対して責任を負果し、これは
 多小を中心として協力及び団結としよう。絆
 固結。取れた体こにこそ、調和すなわち
 「ひとモニー」がうまれてくるのである
 他思う。



キャンブル
 神奈川大学
 キターアンキャンブル

同好会のころ

第一期生(39年卒)越川 捷治

まぎたきとアノ子さシサレの熊鷹を
 其分は愛好会を築き集団当時隨筆樂誦を
 毎日も書けど其が昔り集団なので、其令の
 分業を程解り記憶をたしむるお討録
 て分團。その時ニ

キタ、其愛好会ができたのは、
 十七年十一月下った。当時
 ぼくは氣違ひのようになつてキ
 ターを習ひていたので、大学に
 キタークラブがないというこ
 は、なんたることかと嘆かわ
 く、苛立たしい毎日を送って
 た。どうとう我慢できなくなり
 ある日意を決した。大学内の各

とんどの講堂に「ギター愛好会新設」
 入会希望者は〇月×日ニ号館の二十ニ
 番講堂へ」と赤い千ヨークで書いてま
 わつた。当日の昼休み、二十ニ番講堂

に行つてケると、講堂の定員いつ中いの百人近くの学生が来ていた。ほくはすっかり困つてしまつた。何故なら、この大講堂に今までギタークラブがなかつたといふことは、ギター愛好者が絶対に少ないためだと思つていたので、当日集まるにしても、せいせい三十人だううと思つていたからだ。こんな人多勢ではどうやつて会を運営して行くかしら、とすつかりウロタエタあけた。しかし、これも自分かぶりまいたタネだ。エイノかまわぬい、とにかく一回目の練習日を決めてしまえよと、二日後の昼休みに練習をすることにしてしまつた。

冬になった。ギター愛好会も会員が一人減り、二人減り、寒くなることも、ほくの気持ちもだんだんと他しくなつてきた。最後に残つたのは十人。知らない人

もいるかもしれぬが、三年生は、庄、深沢、それにほく。二年生が高橋と大西、一年生が伊藤、乃美、前田、小俣、中村、全員でたつた。これだけ。でもそれだけに気は良く合つた。毎日午後七時、八時まで練習し、終ると酒を飲みなからギターの話をした。その時の癖がまた抜け切らず、いまたにギターを弾いてゐるとギターを弾いてしまふ。当時は部室などという結構なものはないので、我々はいつもジブシーカに、あちらの部室、こちらの部室と、転々とした。また木造のセミナール室があつたころで、我々が練習をしてゐると隣の部屋から「セミ」の最中だからウルサイ、出て来てくれ」などとすりぶん迷惑がられた。どっかのくたらない教授と学生

にちのせしが終るまで外を待ったことも
あつた。

こんな状態で一年たつた。これまでの
しい練習で得た芸術(?)を初めて公
する大学祭が近づいた。その頃はクラ
の數も二十人程度に増えて、三重奏で
各パートに五、六人を割り当てること
できた。

一回目の演奏では、皆大分あがつてし
た。何しろ、人の前で弾くのは誰も
初めてた。ソロではほとんどミスをし
た。普段上手い人などは、途中までは
スムーズに弾くのだが、ある個所までく
るとどうしても次へ進まなくなつてしま
た。三回程やり直したが、やはり次ぎの
音が出てこず、四回目には楽譜を持ち
出してやつと最後まで演奏することがで
きた。見ているほうはクラクラ笑つてい

たが、本人にとりてはそれこそキンタマ
の縮む思いだつたらう。

あれやこれやで三日間の大学もやつと終
つたのだが、皆充実した気分だつた。
酒が飲めたかつた。痛飲したかつた。下
が唇の財布はすつからかんたかつた。とい
うのは、大学祭に必要な費用は一定の会費
以外にも各個人があるだけの金を出し合
つてまかなつたからだつた。(例えは
大学祭までは譜面台すらなかつたので、
急遽購入し、足台はB君が日曜大工のよ
うなことをして作つた。)

しかし、今の様なギター・アンサンブ
ルの姿をみると、やはり感激がある。ま
してや、ほくの念願だつた機関紙もでき
たことだ。我々の苦勞(?)も何かの足し
になつたのではないかと、私を含めて、
当時のクラブ員、一人一人が秘かたニヤ



ホセ・ルイス

と私

山口昭三

五月十三日にリサイタルがあるため、多忙をさける目的で、私は新橋の第一ホテルに一週間程行っていた。ところが偶然にも、セゴビアの四天王としてその名も高い、ホセ・ルイスが同ホテルに同宿していたのである。

彼の日本における、第一回目の公演の日に、会場へ案内するため、大沢絆氏と彼の部屋をおとすれると、彼は何やら針と糸を持ち出して、極めてあわてている

子であった。聞いてみると、「国の家
かわすれっぽいので、Yシャツのカフス
ス、今そがついたので、あわてて他の
シャツからボタンを取ってくっつけて
いたのだ。」と汗みじろいで説明していた。
これがホセルイスと私の出合ひである

当日の彼の演奏は奥に見事であり、そ
の美しい音色は聴衆を魅了せずにはお
かなかつた。会の終了後ホテルの食堂
で夕食を共にしたのであるが、スペイン
語の判る小原安正、中林淳、大沢絆氏
等は何やら適当に談笑していても、私と
伊藤進氏等はさっぱり判らず、きよとん
としてゐるより仕方がなかつた。ところ
が、ホセルイスはッドニー音楽院の教授
を三年間もやって、英語はペラペラのは

ずだから、こっちは一々英語でやってや
らうと思ひ、得意のブロックイングリ
ッシュで話して見たところ意外と良く通
じたので、これは占めたものと、それか
らは談笑に加わることができたのである。
私もこのホテルに滞在してゐると言
うと、せむ自分の部屋に遊びに来いとい
うことになり、すっかり仲良くなつてし
まった。

翌日、瞬ができたので早速彼の部屋
を訪れることにした。彼はコレコレズホ
ンに首にマフラーを括きつた。あまり
イカサないスタイルで私を迎えた。
噂によると彼は一日中ギターを弾きづ
めにしていても少しもへばらないスタミ
ナを持つ、と聞いていたケオの定バリバ
リ練習していた様子であった。私が行く
なり、どうだ良いうミスだらう。これ

は五の万円もするのだ」と偉はって、や
おら一曲弾ぎ始めた。曲はトローバのソ
ナチネである。彼一流の素晴らしい音色を
差して聞けるとは何と幸運であらうか。
私も持参のコントレウスで同じ曲を弾い
てみた。じっと私の指を見ていた彼は、
「どうもお前のは運指がおかしい。そん
な運指では演奏不可能である、良く弾け
るか否かは運指の良否で決まる」と言っ
て彼独自の運指を披露してくれた。しか
し彼の運指はセゴビアの付したものと
全く違っていたので、「セゴビアは私の弾
いたような運指で出版しているが」と問う
と、「いや、彼もしコードに入れた場合に
は書いたようには弾いていない、だから
そんな運指は忘れて自分のように弾け
ると非常に細かく教えてくれた。しかし翌
日はリサイタルを控えていて、前日運指

を変更するわけにはいかなかった。
「明日は悪い運指のまま弾くけれど勤
弁してくれ」というと、「それは仕方な
いが、明後日からは変更しなさい」とい
うわけで、ようやく収まりがかった。
彼は本当にギターを弾くのが好きなよう
で、次から次へと名曲を聞かせてくれ、
一夜のリサイタル分位は僅に弾いてくれ
たのではないだろうか。
彼の部屋を辞するとき、私のリサイタル
をせひ聞いてくれるようにと言うと、横
浜は遠いのではないかと問うので、東
京から僅か三分だと言うと、「せひ聞き
たい、乗してみたい」と来聴を約束してくれ
た。

リサイタルの当日私はホテルを出るの
で、朝彼の部屋にありさつに行こうと思
って電話をした。すると着替えるので10

分發してから来てくれるようにとのこ
となので、下のロビーでタバコを買って
彼の部屋を訪ねると、ホテルの掃除人が
掃除をしていて、彼は私の部屋へ行った
と云うので、あつて引き返したのだが
これまた行き違いになったとみえて彼
はここに居るか判らなくなつてしまつた
。しかしいざ彼部屋へ来るたうと、又
彼の部屋の多へ向つたところ、エレベー
ターの中では、たり出合ひ、彼も私をさ
がして右往左往していたのだと大笑い
してしまつた。銀座へモーニングコーヒ
ーを飲みに行こうということになり新橋
が有楽町にかけて銀座ブラをいながらマ
ドリードやシドニーの話などを聞かせて
貰つた。結局良さそうなので、ホテルに度
を度いでいながら、ホテルに度り
やつとコーヒールにありついたわけなのだ

が横濱へ帰らねばならぬ時であつ
たので、夕刻の函館を約して別れた。
リサイタルの会場で時内前にウロウロ
してゐると彼は山添安正先生とつれだつ
てやおら会場に入つて来た。初めてのり
サイタルで世界的巨匠に度りて貰える幸
福を得たことは、無類とはいへ大変名譽
なことであつた。それだけにどうも固く
なつてしまひ、結果は件々思つたまうに
は弾けなかつた。しかし自分自身、思
う存分やつたつもりではある。
会の後で、彼と野毛のテンプラ屋へ入
り、サシミと天ぷらをこつたのだが、鮫
は天ぷらは盛にバクついていたが、どう
やらサシミは苦手らしく、ワサビをク
けて口の辺りまで持つてゆくとこまで行
つたが、口の巾へ入れさせるのは成功し
なかつた。

私の演奏に対する批評は、
言的ばものであり、大意は次のようであ
った。『全体にスピードが早すぎる、単
に演奏することは容易であるが、音楽を
語るのには難かしい、今後は弾く力ではな
く、いかに語るかを研究したい。また、
音色を美しくすることにこそ注意が私
に求められるべきである』と。

私の記念すべき第一回リサイタルは終
った。そしてその最大の収穫は世界的大
ギタリスト、ホセリルスリゴンザレ
スの批評を得られたことだろう。

今後彼のように美しい音で、音楽を
語るようになることを念じ、一層の精
進を惜まぬつもりでいる。 完

新入生の言葉

法一 田中和夫

数学と同時に、学生生活を、よりう
おりのあるものにするためには、クラブ
に入部することだ。個人的、時間的、あ
るいは物質的見地によつて、いろいろな
クラブを選んでみた。けれど自分の条件
にかはらうクラブは、ギターとサニブ
ルに決つた。自分自身、ギターについ
ての知識、技術はなにもない。まーてや
、音楽的知識も皆無にちがひ。そんな自
分がなぜ「ギターとサニブル」を選ん
だのか、考えてみた。それは、ただギ
ターを弾きたいという単純、かつ純粋な
持があつたからである。

NO14 しかし、自主的判斷に基ずく、納得ある気持からであつた。

ギターの音色は古風叙情的な自然美をまわっている。音色に何の抵抗感もいたかか、魅惑されたのは、音の神秘性を心にもったからである。うつくしい、すばらしいという純粹な心ほど、価値あるものはない。ギターを弾くのに、技術的進歩を除外すると、そこには、個人的なたのしみがある。

これから、ギター演奏技術をなうう時に、あまり技術的方面ばかりに重きを置かないことにした。細入によつて、考え方が異なるが、自分自身、納得していけば、よいと思う。

ギタークラブ入部の目的は、表面的には、個性の拡大であるが、内面的には、クラブ内の先輩たちとの、一種の社会生活

を体験することである。納得ある同生者をすることによつて、個性を伸ばすみをおびた人間にし、独立自主的な人間にし、そこに入部の本質を見つけて出す。その目的である。しかし理論と実際とは合致しにくく、ものであるから、自分自身、納得ある判斷によつて、行動していくつもりである。細く長く、努力していくつもりである。 完

三一 純田隆秀

大学に入る前、高校時代では大学という所にあるが、大学に入る事を何以上にも望むのである。高校生にとつては大学という所は何が最大の所の孫にさえ思え、一生を道として一歩のんびりしていて

先生の上で学生同志が楽しく話し合っ
 てゐる所の陽気な風景を思い浮かべては大
 學へ入る事を夢にまで見たが、一旦、難
 関を入試に打ち勝つていざ大學へ入ると
 、我々の高教時代のあの楽しい夢はどこ
 かへ行つてしまふ。もちろん嬉しい長持
 ちもあるが、それ以上に何が不安な一
 つな物が「フキ」といはいめる。まだ最初
 ののだからたうら
 がある面では
 高校時代の
 うか楽しい
 と感ずる事
 がある。



やはり学生と
 教授間の親密さと、大學に
 教授陣の執念さと、大學に
 搬送時局とその授業態度である。ある教師
 における
 における
 における
 における
 における

先輩からのたより

(原文をそのまま書きます)

今井準一郎(白子) (昭和十二年卒)

拝活

優秀なる新入部員を向へ大りに活発に部活
 動を続けて居る事と思ひます。

小生約一ヶ月の教育期間の後、意外にも東北
 の都仙台支店に配属され学校販売課に勤務
 する事となりました。担当は仙台に在る音
 大の学生相手のピアノセールス。接近する
 相手が年若き女性なので趣味と実益を兼ね
 た仕事と大りに張切つて日夜仕事に励んで
 居る次第。

此の夏あたりに寝養旅行の計画があつたこ
 仙台にも立寄りように、大りに歓迎するよ
 部長一同に宣しく
 神大ギターアンサンブルの健闘を祈る。

カササカ

(現在所) 山台市北ニ番丁一〇八山田 ち

河合楽器寮

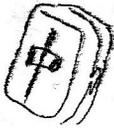
に成ると相違早く終えてゐる。この事

は学生諸君にとつては實にあり加たいこと
がもしないが、反面高橋時代のまぢ
ん、きちんとしてた気分と違つて、何かだ
らだらした気分になりがちである。この
事は大りにあると思う。いづれ社会に飛
び立つ代々にとつては良くない事である
の。それは何かの提出物を出す場合にでも
高教の時は大部命加教師の手を通して行
なわれていたが、大学では学生課とか業務
課といつた所へ自分で持つて行かなければ
ならない。また、いろいろな伝達事項
も全部扱ふ板を廻して学生に知らすれて
いるが、これでも全部自分でやらね
ければならない。全責任は全部自分にあ
るのだ。この事は前の又と反面、社会に
我々にとつて良い事だと思ふ。

それから時に大学に入つて感じた面は

高教と違つて単位教が多い事である。

一日中、勉強に縛られていなければな
らない。もっとも自由な時間がほしい、そ
れに物を考える事の幼稚な我々にとつて
まだ社会をよく知らない。我々にとつて
なによりも大切な事は、と、他の人々
と話し合ひ、つき合つてゐる事が大事だと思
ひます。今の大学の状態では何かかの
たうない嫌な気がする、もう少し話し合
える場がほしい、これに一年から長く耳
内科目を取り入れるといふ事は社会を良
く知らない我々にとつては良い事だらう
か、急にそのまうな専門科目を入れるの
はどうか、もっと社会をよく知っ
てからではどうか。



機関紙の創刊に当り

ギター部第2回卒業

高橋国男

神大ギターアンサンブルで機関紙を發行することになったとの通知を受け、いよいよ神大ギターアンサンブルも充実してきたものだと思ひます、又そのタイトルも「不狂知音」とのこと、増々気に入りました。我々ギターアンサンブルを「機関紙の発行」という段階までに発展させてきてくれた現役の諸君！御苦労様！！

ギター愛好会の発足、そしてその発展に尽力されてこられた越川先輩をはじめ先輩諸氏もさぞ喜んでゐることでしょう。我々ギターアンサンブルの発展を喜び、会えることは全く楽しいことですが、し

かしまたまたま素直にばかりはいられません、神大ギターアンサンブルの名を世間知らせざる迄には厳しい修練が待ち構えてゐます。我々のギター部の発展過程を並例ですが、一本の樹木に例えますと、荒地を耕し種をまき、立派な芽にまで育ててきてくれたのは、先輩諸氏の努力に依るものであり、その芽が現役諸君の努力で現在の力強い幹に成長したばかりなのです、この幹に枝を付け花を咲かせ、このこと、我々ギターアンサンブルの名が世間に知れ渡るものだと思ひます。一日も早く、この立派な花を咲かせるべく、先輩としての我々のバックアップは持論のこと、現役諸君のより一層の努力を切望します。

最後に、先輩諸氏に紙面を拝借し、多くの御無沙汰をお詫言ひ申し上げます。

甲寅年五月二十日記

ゆかいな

小出合宿

新堀明男

「おかしいな、どうしたのかな」時間を間違えたんじゃないかと、口々につぶやきながら、両手にバックとギターケースをぶらさげて、列車にのり込む一団のグループがあった。総勢8名、神奈川大学ギター部夏季合宿の出発風景であった。現在の我がクラブから考えると、想像もどきないような、出発風景であった。部長の谷川さん他7名の部員は、余りの少人数に、何か親然としないものを感じながら、上野駅から、一路「小出」に向った。しかし、窓外に映る、美しい風景をなが

め、一ヶ月半ぶりに再会した部員達と話し合っているうちに、胸中にあつたスッキリしない気分は、いつしか、これから始まる一週間の合宿に耐する、明るい期待に変わっていった。小出の駅に着き改札口を出ると、同じく部員であり、今回の合宿の世話をしてくれた「関」が迎えに来てくれた。合宿参加者が8名と聞いて「関はいささかびっくりしたようであるが、来ない者はしかたあるまい。宿舎、兼練習場であつたれた公民館に向つて、トボトボと歩き出した。途中、貸しフトン屋に立寄り、フトンを受けとり、リヤカーに積んで町の中を引いて歩いた。遠路横浜から列車にゆられ、着いたら直ぐに町なかを、フトンを積んだりヤカー引きとは、誇り高き神奈川大学生のプライドが許さないと

言いたいところだが、予約の人数より大幅に減少し、むしろに少々ひけ目を感じているので、不平も言わずに、宿舎まで運び込んだ。

こうして約一週間の合宿が始まったのであるが、参加者が、途中参加者も含めて10名余り、という少人数のためか、全員一致団結して、卓球の練習をし、ギターにあらすし飲みまくり、フザケまくりとしてギターの練習をみっちり行った。先に一致団結してと書いたが、一人この団結に加わらなかつた変人がいる、唯か？ 水沢浩である。彼は皆が夜の練習を終え、これから楽しい夜遊びを始めようとする頃には、さっさとフトンを敷き寝てしまい、朝は朝で、階下の練習場で、ギターをかきならし、我々の安眠を妨げたのであった、まさに健康優良鬼の

よーーやーよーーやーよーー

見本みたいな男である。

この合宿に参加したものは全員男性であったために、(もつとも、その頃女子部員はいなかった)のであるが、何の気がねもなく一週間を過ごすことができた。日中の暑い時は殆んどの方が、上半身ハダカ、下半身も、文化人と野蠻人との差を示す、ギリギリのものぐらひしか身につけていなかった。そして部屋の一隅にはリめぐらされたロープには、万国旗を思わせるような、洗曝した下着がズラリとブラさかっていた。それを下からななめ、窓からはいる微風をうけて、大の字になつて昼寝をする時の気分は何とも言えず、無上の幸福を感じたものである、三年生は、谷川さん、今井さん、田尻さんだけであり、残りは全員一年生のため、我々が働くより、三年生のオがよく働いて

くれたように思う、又この三人の先輩はそれぞれ個性があり、パチンコをやりに行、ても、投資した分だけはガチリと商売にかえてしまった田尻さんや、パチンコが非常に上手にもかかわらず、出した球は皆下級生にもつかれてしまった谷川さん、どこで何をしているのかわからない今井さんなど、それぞれ、その人の性格を表わしていてもしろいと思う、又この合宿は、先輩と非常に親しみを覚しただけではなく、一年生同士も、一間の生活でぐっと親しさを増したと同時に、それぞれの性格もよく知ることになった。現在でもクラブの雑用を一切引き受け、クラブ一の働き者と、自他共に認める大石は、この合宿の頃からその方面において頭角を表わし始め、部屋の外、食堂の片づけ、よっぱらいの世話

イ イ ス - - イ イ ス - - イ イ ス - - イ イ

や跡始末など、奥にまめに働いた、彼の堂々たる身体つきからは想像できないような、非常に女性的な在事を、喜々としてやるのだから、人間というものはわからない。又現在、自ら俺は奥端者だからな、と宣言し、日夜中国語に精進している萩野氏は、毎晩首がねむりにつくころ、山崎と一緒にあって、ウイスキーなどを飲み、自分達だけ良い気持ちになつて、さわやかだし、や々と眠りについた我々を起こしたすのである。初めのうちはそうでもなかったが、毎晩ぐっさわかれるので、腹にすえかねて、どなりたくなつた時もあったが、そのたびに四国は土佐の山中で育ったという、彼の大学生、ましてギタールを手にするとは何人も信じられぬいであらう、彼の顔を自たするたび、こみ上げた怒りがスーと消えてし

また、たかう不思議なものである。

又、現在には還都してしまふ。た関は、地元
の強みと、もって生まれた女性に対する
強さをいかに発揮し、我々をうらや
ましからせた。町を歩いても、あち
らこちらの女性から声をかけられ、合宿
最後の夜のゴンパには差し入れまで届く
始末で、彼とおのれとの差をいやとい
うほど感じさせられた。

現在部長をしている桐ヶ谷については、
余り深い思い出がない、それでいて部長
になったということは、他の者がそれぞ
れ、今いったような個性を出し、三年ま
で過している間に、彼なりのペースで地
道に力をつけてきたからであらうと思
う。

現在この合宿に参加した一年生は、関
を除いて全員クラブに残っており、それ

ぞれクラブの重要な地位にいらすが、この
合宿で感じた各人の性格は、三年になっ
た今でも殆んど変化していないように思
う。

合宿最後の日は二回にわけて演奏会を
開き、引き続き盛大なゴンパを開いたの
であるが、この時ほど楽しいゴンパは今
までに味わうことができなかった。

現在、二年前に比べて膨大に増加した
部員数などの他の事情からして、多分二
度とこのような形の合宿は行なわれない
ことと思うが、そう思えば思うほど、こ
の合宿がなつかしく思われるのである。

春期合宿日記

英二 広畑 真

月 日

のんびりと過ごした着泳みもいよいよ残り少なくなり、今日から合宿が始まった。合宿地、千石原は、まわりを山でかこまれ暖気が冷たく、とても気持ちよかったです。さすが山の甲だけあって遊ぶ所もなく、毎日ギターを弾く以外楽しみはなさそうだ。まあ、この一週間で目標のページまで仕上げるぞ。

月 日

朝七時半起床。あり、今朝の眠かったことよ。昨夜遅くまで騒いで寝させなかった奴が憎い。午前中、個人レッスンと合同合奏。昼から一時半程合奏練習をや

った後やると白虫時向。近くの空地へ行つてソフトボールをやる。ゲーム中、村上氏が金を拾ったと大喜びしている。彼の顔が一瞬ニタリとした。さほどうれしかつたのか。

夜、新堀代作曲「哀愁」のストリングホルムを覚える。この曲我々の食事を作つてくれる栄養短大の姉ちゃんに好評。

新堀代「ボカ」了幸せたなあと言ったところかな。

月 日

昼から山口先生来訪。昨日から開始されたミーティングに先生もさっそく加入。夜、クラブ内の独奏会が催された。人前で弾くむずかしい。ふだんはもつと上手はずだったのに。一人一人先生が文句をつけて批評して下さる。先生の前ではお弾くにくいなあ。独奏会終了後先生

音楽講座

No. II

我々ギターをかたはでる時に、まずそのルールも知らなければなりません。もしこれが破られたとしたら、そこに忠実上ってくるものは、何の意味も、持ちません。

しかし、音楽の場合、そのルールが完全なものかといつと、どうでもありません。むしろあくまでも原則であり、基本的なものです。

皆さんはすでに、小学校、中学校、高校と音楽の授業をうけて、どうとうに知っているかと思ひます、ですからここでは、ギター音楽によく出てくるものを取り上げてみたいと思ひます。

今回は裝飾音を取り上げてみました。なにぶん筆者の勉強不足で、もし誤りがありましたら、御指摘ください。

《裝飾音》 (Appoggiatura) (Apoyatura)

裝飾音には通常、四種あります。即ち、長倚音、短倚音、重倚音、及び連音です。倚音とは小さな音譜で書かれます。主音譜の半分の長さだけ出るとられるのが長倚音で、これが極く短い場合は短倚音である。これは、倚音に斜線が付せられる奏法は「カト」と同じで、倚音は右手で、弾き定音は左手で響かす。

下にその書法、奏法を記して置く。

長倚音

書法	
奏法	

書法
奏法

倚音の時間装飾された譜に刻込む
これは37セント短倚音と名付け、この種
が普通多く用いられている;

書法
奏法

倚音の時間が先主の音譜に刻り込む場合の
例。これを37セント抜き短倚音と名付
く

Fの譜は倚音と伴奏部(コード)と同時に弾く例です。

書法
奏法

これは加論のこと37セント短倚音です。

重倚音

重倚音も「カド」の奏法と同じに奏される。これは短倚音と
同様二種あり、先の譜に刻り込む場合と、次の音に刻り込む
場合がある。〈重倚音が先きの音に刻り込む場合〉

連音 (Mordento)

これは裝飾音の一種 W の記号をわけて示される場合がある
 又、連音は重倚音の一種であることを申述べて置く。

書法

奏法

上記の如く W を記す場合もあるが
 大体下譜の如く書かれる。

三つの音による連音

四つの音による連音

回音 (Grupeto)

裝飾音の一群で、主音と、その上、下の音から成り交つ
 たいたい三分に分ることが出来る。

- ① 主音から始まり、この場合小さい飾音が書かれる。
A (♩)
- ② 上の方の音から始まるもの
B (♩)
- ③ 下の方の音から始まるもの
C (♩)

中三法

伴奏部のある
同種のきの

書法

奏法

右手法

λ m l m l

P P P

トリルするハキ音の短い時間には、続く音が発止を待たげる時には、キはせ莫のトリルではないで、ただ「顫音」さした符なのである。
 <使用される記号(丸)>

書法

奏法

丸

丸

丸

<顫音にはこの他色々ほかがある>

たつたつた) 主な聚餘音を書いてみたが、この他にも
 天山ある。詳しくは音楽の専攻の本を参照して
 ほしい。同じトリルにしても、その曲の出来上った
 時代、作曲者によって、いろいろ違いがある。
 我々は曲を演奏する場合に、基本的な楽
 典、を理解するのはもちろん、音楽史を理解
 し、正しくしかも自分の音楽をつくり出さねば
 なりません。

次回はギター音楽史について、書きたり
 思います。 御期待ください。

(担当 水沢 浩)

卸員。3ダナ

乃美え宏	4	のみ	姓字から取る。
古川皓へ	4	ロツパ	改古川ロツパにちなんで
吉田静司	4	チョンボ	麻雀をしている時、口ぐせの如くに「チョンボ」と言う
中村正良	4	黒い雲	前会計のおり政治の財政で不正があったので
伊藤賢治	4	カマシ	知前から取る。
桐谷繁	3	コレクター	ちやうち、探集。姓探集
新瀬明雄	3	扶監督	家の仕事から取り上げる
大石秀夫	3	シモ	麻雀をしている時「シモ」をはり言えたり、
竹村正彦	3	ホクテン	口ぐせ。
山崎雄	3	シズ研主	シズハルとハエホハンの顔をしらべにシズ
工藤一夫	3	師匠	バイト中に付く。
石井知行	1	神戸の 岡太郎	今まで学校への「ツリ」で来るのみ。
鈴木博	2	ちんちん だるま	体はまん丸。目はくりくり
春田孝之	2	ハタ坊	姓字をもったまの(漫画から)
丸山和子	2	カコ	和子の愛称。
村上祐治	2	原人	こらんの通り見出しはわかる。
荒川敬一	2	中太郎	体を見出しは「くわかろか。君達も見たま!
斎藤源一	2	チース	合宿中に「チース」かつく
近藤源一	2	大橋源一	テレビに出演している人とそっくり!
柏木	2	番台	風呂の番台によく座っている。
勝俣元子	2	金太郎	箱根郡足柄山出身

以上、113113な3ダナがありますか。また付いていたら
人があります。とこで何かアタナを付けて編集部まで。

第一回定期演奏会

概四 乃美元宏

回好会、創立以来、二年と数ヶ月。

ギター・シンガルの、あこがれの定期演奏会を開いたのは、昭和四十年六月五日の事であった。

そのいきさつを、簡単に述べておこう。四年の春は、冷まてになく多数の新人部員を迎えて、クラブの活動が、人事的、事務的な事に集中され、ギターの練習が、薄りがちであった。その為、即対する疑問や、不満が頭をまたげて来一時は、クーデターの騒ぎも起しかねな程であった。これには、部長以下、幹事連も悩まされ、毎夜、灯のもとに集って、解決策を練っていた。(まあ、幾分か、種の実しおもありわしたか、)

とモかく、その解決策として、皆が参加出来る様な、具体的なへの目標を作ろうでは無いかと、という事になり、作られたのが、この中一回の定期演奏会なのである。

まだ、数回の発表会を経験しただけの、いわば、シリの青い我がクラブではあったが、その名も、中一回定期演奏会という、御大層なものに感激し、知りに張りきったのは言うまでもなかった。

とかく、真面目人向の多い我がクラブでは必然的に、授業は最小限度にとどめ、回大時中、ギターを抱えている様になるのも当然であった。

頭数がそろろうと、あいている教室を探し、ウルサ型の教授や、守衛の目を盗んで、腹の空くまで練習。

八時過ぎると、決って、あのしやう油

演奏会が近づくと、また、練習……。
九時まで強化練習が続いた。

当時の指揮は、まだ破綻されたもので
はなく、各人が音の強弱、表情を付けて
、それに指揮者が合のせるというた振動
で、実際、発表会の時等、タクトを見る
方は恐ろしくなく、指揮者こそ、良し面の皮
じであった。ともあ、練習のうは暗、好き
は者同士の、その上、同じ釜の飯を飲んで
るお陰か、大禍なく過ぎていったが、
公場の交渉、ア口演奏家の出張依頼、券
税金 等々、事務や外務に用する事と
はると、さ。ぱり進行せず、な、へ
の周前からでも、違くはないサレと例の
ッ子で、ひたすらギターと、ブルースル
精選していった様だ。
所が、いざ、その一通周前になると、

今度ほど、ただ、あのた、い、た、り、で、
日、一日が過ぎてゆき、練習も満足に出
来ぬ程ひびいた。今度こそ、ヤケ酒を
飲まないようにしよう。し、という決意もど
こへやら、不安と共に迎えた崩壊の日。
中一部、独奏、重奏の部を、途中で弾
いた興奮も醒めないままに聞いた中二部
、ア口演奏。

中でも目と身に強烈に訴える、小原聖子
嬢の脚線美と、トシモロ。キ、て、オラ
が師匠、山口氏の、麻雀の時以外は見
れぬあの真剣な顔つき……。
中三部、最終曲目、パッサカリ。

キ、て、
拍手……。
うまかった。うまかった。
そのあとの顔。

過去における 演奏会の プログラム

第1回定期演奏会

1965年 6月14日

勤労会館

I 部 ソロ・重奏 (部員有志)

- ロンド カリ (1st 谷川)
- 田に捧げるソナチネ 横尾幸弘 (2nd B美)
- 前奏曲 NO.1 ヒラコ松 伊藤志乙
- ヌヌエット NO.6 F. ヴィル 前田邦夫
- 魔笛の主題による変奏曲 F. ヴィル 谷川浩行
- アンダンティーナ リナー
- 月光 F. ヴィル
- 樂喫の時 ショーベルト
- ニッのヌヌエット バッハ

1st 中村宣夫 小候武雄 山本毅

2nd 今井準一郎 苗手忠彦 松村勝一

3rd 田尻武 阪本 藪内義之

II ソロ (ゲスト)

・ 山口軍二 , 渡辺綾子 小原聖子

Ⅲ部 アンサンブル

- アンダンテ
- 11長調組曲
アンダンテ
メヌエット
アダージョ
ロンド

- クシコスホスト
- ペルシャの市場
- パッサカリア

アンコール曲

ラ・クンパルシータ

指揮 山口 暉二

A. ビバルディ

D. カル

ネッケ

ワテルビー

ホスチエ

第1回 新人発表会

1965年 11月

南区公会堂

合奏 (一年, 二年)

指揮 谷川 浩行

- アンダンティーノ
- サラバンド
- カポット
- ベサメムーチョ
- 真珠とりのタンゴ
- パッサカリア

重奏

月光

F. ソル

{ 村上 (2年)

{ 加藤 (2年)

独奏

- | | |
|------------|---------|
| ワレツ アンダンテ | 富樫 (1年) |
| さくら変奏曲 | 水沢 (1年) |
| アルハンブラの想り出 | 関 (1年) |

神奈川県ギターフェスティバル

1965年 12月6日
神奈川県立音楽堂

- | | |
|------------|------|
| ◦ サラバード | ハンデル |
| ◦ カボット | バッハ |
| ◦ 真珠とりのタンゴ | |
| ◦ ベサメムーチョ | |
| ◦ マカレスの乙女 | |
| ◦ パッサカリ | |

指揮 若川浩行

第3回 神奈川県立大学音楽祭

1966年 6月16日(木) 6:00 PM
横浜文化体育館

アンサンブル 指揮 水沢浩

- | | |
|------------|------|
| ◦ アンダンテ | キフナー |
| ◦ ベサメムーチョ | |
| ◦ ラクソパルシイタ | |
| ◦ 真珠とりのタンゴ | |
| ◦ サラバード | ハンデル |
| ◦ パッサカリ | ボスウェ |

トリオ

- | | |
|---------------|-------|
| ◦ アンダンテ | ビバルディ |
| ◦ スパニッシュセレナード | ビゼー |

アンサンブル

- | | | |
|----------|-----|-------|
| ◦ キター協奏曲 | ニ長調 | ビバルディ |
|----------|-----|-------|

全日本ギターの祭典

1966年 6月20日 6:30 p.m.

第4夜

学生ギターサークルの夕

朝日講堂

- ・ アンダンテ A. ビルゲルティ
- ・ スピニッシュセレナード ビゼー
- ・ ギター協奏曲 A. ビルゲルティ

指揮 水沢 浩

第2回新人発表会

1966年 11月17日 5.p.m.

勤労会館

- 合奏 1年 指揮 石井知行

カッコウワルツ

オリエンタルダンス

- 三重奏

ロンド

ロドリゲスバレー

{ 1st 石井 (1年)
2nd 村上 (1年)
3rd 鈴木 (1年)

- 独奏

ミルヤルイサ

小ロマンス

ニッのXヌエット

桐谷 (2年)

荻野 (2年)

小久江 (2年)



第2回定期演奏会

1966 12月7日(水) 6:30~9:00 P.M.
 神奈川県音楽堂

◇ I 部 一年生合奏 指揮 柳田 耕男

- 。 カッコウワルツ (J. ジョナソン)
- 。 雪の降る町 (中田喜直)
- 。 オリエンタルダンス (ロシア民謡)

合奏メンバー

1st	2nd	3rd
石井知行	丸山和子	新南祐子
着田孝充	野村典夫	内山静夫
広畑 真	高木 仁	橋本 治
沖野祐治	松本和彦	有藤 宏之
寺谷 節男	清水邦子	近藤 宏之
村上祐二	鈴木 博	杓山公男
室岡輝彦	荒川 敬一	大谷 信一
室伏 明道	堀江 一彦	勝 侯元子
大村知臣	平岡 豊	早川ユキ子
		岩崎 誓子
		田中 徹

◇ II 部 アンサンブル 指揮 水沢 浩

- 。 ロマンズ L.D. カー
- 。 カボット J.S. バッハ
- 。 エコー J.S. バッハ
- 。 パルシヤの市場にて ケテルビー
- 。 キター 協奏曲 二長調 A.B. バルティ

ソロ 今井 洋一郎

合奏メンバー

今井 幸一郎
 松村 勝一
 片桐 浩
 桐谷 繁
 石井 知行

2nd
 B 美元 宏
 藪内 義之
 村上 澄生
 関 明矩
 小江 迪雄

3rd
 田原 武
 藪野 泰久
 新堀 明雄
 鈴木 博
 村上 裕二

◇ III 部 重奏 合奏

- ・ カボット J.S.Bach 水沢 浩
- ・ ヌヌエット J.S.Bach 関 明矩
- ・ ロンド カルリ
- ・ アルハンブラの思い出 (ターレサ) B 美元 宏
- ・ 前奏曲 NO.1 ビラ・ロボス 松村 勝一
- ・ アンダンテ A. ビバルディ 今井 幸一郎
- ・ 序曲 クラニアニニ 藪内 義之
- ・ 田原 武

◇ IV 部 ガスト

- ・ シタコンヌ J.S.Bach 兼吉 隆雄
- ・ ロシアの思い出 F. Yil 橋本 剛, 山口 昭三

◇ V 部 アンサンブル A 指揮 関明矩

- ・ ニッのギター ロシア民謡
- ・ 夕日と私 堀 永作
- ・ 夜霧のしのび逢り ヴォルンエテ
- ・ よろこび草 B 指揮 水沢 浩
- ・ 溪辺の歌 多忠 亮
- ・ 新内流し 成田 兼三
- ・ マイアミ・ビーチルネッサンス 日本 俗曲
- ・ ブラタタンゴ アルトボッコラロ
- ・ 夜明け ファイルガ
- ・ 真珠取りのタンゴ ビセー

エンコール曲. ピッサカリア ホステ

合奏×ン11"——

- | | | | |
|---------------|----------------|--------------|-----------|
| 1st 餅季 一郎 (4) | 2nd B 美元 宏 (4) | 3rd 田尻 武 (4) | 工藤 一夫 (2) |
| 松村 勝一 (4) | 萩内 義之 (4) | 井田 広二 (3) | 寺田 照茂 (2) |
| 伊藤 寛治 (3) | 奥玉 和清 (4) | 川崎 大輔 (3) | 岩崎 華子 (1) |
| 片桐 浩 (2) | 村上 澄生 (3) | 吉田 静司 (3) | |
| 桐谷 繁 (2) | 古川 皓一 (3) | 牛村 正良 (3) | |
| 平石 尚 (2) | 岡 明矩 (2) | 新堀 明雄 (2) | |
| 石井 知行 (1) | 萩野 泰久 (2) | 大石 秀夫 (2) | |
| 村上 祐二 (1) | 小久江 雄雄 (2) | 竹村 正彦 (2) | |
| | 鈴木 博 (1) | 山崎 安雄 (2) | |

友月一和歌

と和

電学料3年 水天 浩

深く考えた事はあ
ぼく自身やれほど
こしてります。

ギター音楽とは
どらリラ物か。日
常にくたさはな
の思考もなく、た
だギターをかきな

りませんでした。
ぼくが初めてギターを手にしたのが二
二年の夏休みの終りだ。たかと思っ
ぼくのおじさんが歌謡曲をギターで
てりました。それを聞いてすっかり
つかれておじさんからギターを借
やりはじめたのがキッカケです。多
さ人も同じような動機ではなりで
か？でも中学から音楽関係のクラブ
って音楽に接していった精分、三年場
カルカッシの五十の練習曲などを自
にやりはじめ、高校で同好会をつく
しんでりました。大学に入って先輩
並に同輩の奏る姿にびっくりしまし
まだ当時アポヤンドなどまったく知
りばくにこってアルハンブラの想
「魔笛」の主題による変奏「アストリア」
夢の中の曲でした。それから二年間

たう日音のギターに對する考へは大き
く変つたように思ひます。はじめは単純な

ものかぶだんだんと高等で複雑な物にと

我々がギターで作る音楽、芸術、これらに

つりつすこし考へてみよう。音楽芸術は作

曲家と演奏家とより鑑賞者とりう三者が

りなくしては価値がありません。この内一

つてもかければそれはもうなんの意味をも

たしません。しかし人はこの三者の内のだれ

にならうと自由です。ギターとりう小とな

楽器。ここから生れ出る音の芸術。音楽は

心でしか鑑賞できなりのものなのです。音楽

家とは作曲家、演奏家だけのことと示すの

ではありません。音の芸術を理解出来る人

も音楽家なのです。音楽と音楽家、ギター

音楽とギター音楽家、ここではぼくたちは

ギター音楽家にならうとした時に、ギター

音楽とりうものゆすがたをつかまなくては

は有りません。ギター音
楽とは、文字の如くギタ
ーで音楽を、あるには音

楽をギターで表現するこ

とを意味してりると思ひ

ます。ここで音楽とりう

困難な問題につりつ考へ

ることと考へて、ギター

につりつ考へてみましよ

う。この特長はまず音に

あると思ひます。なんの

りやみもなり澄んだ音色。

これがぼくたちの心をと

らんとするのはなりのしよ

うが。これが他の弱点を

カバーして今日に花を咲

せてりるのではなりのし

ようが、古くは前々以来

〔42年度ギターアンサンブル予定〕

- 1月9日 {部内独奏会 <課題曲>
- 14日 {部内独奏会 <自由曲>
- 23日 追出コンハ
- 4月6日 {春期合宿 {部内独奏会
- 12日 {コンハ
- 日 新入生部説明会
- 日 新入生歓迎会
- 5月7日

- 6月7日 あやめ祭
- 9日 神奈川大学音楽祭
- 7月中旬 夏期合宿
- 9月中旬 独奏会
- 11月上旬 大学祭
- 12月 新人発表会

の音楽、ロック音楽にはじまり、現代音楽にさらに庶民の音楽、さうにはすこし形ががたがたがジャズなど人と幅の広がりレパートリーをこめてあります。しかしこれは大きな特長であって、その反面ギター音楽とりうものを考えようとする時に大きな障害となるでしょう。ここでも今の音楽家たちのギター音楽にっりての見える方を書りてみますよう。

レパートリーハンビ

ギターは小さなオーケストラである

シューベルト

ギターはすばうしり楽器である。しか

かしそのすばうしさを理解してりる

人は甚だ少ななり。

レガティニ

私はギターの和音がたまうなく好きだ。私は旅行の時いつもギターを

仲間として作れて行く。

マスネー

ギターは肉ゆる弦楽器の中で一番完成した楽器である。

シヨルン

すぐれたギターほど美しいものは外にえくれなり。

ドビッシー

ギターはハーピアシェコードのようだが更に強く胸を打つ。

デファリアン

ギターは和音と多音の点で、最も完全豊かな楽器である。

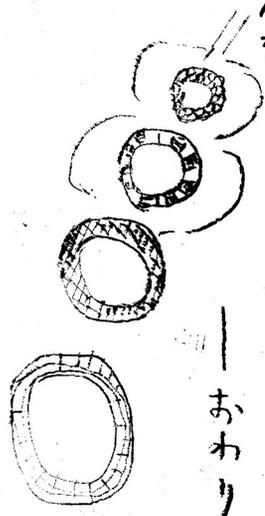
ストラビンスキー

ギターは音が小さいのびはなく遠くでっけてりるのである。

我々トコ、てミれうの偉大な音楽家の業に、特くにシューベルトやシヨルン

「またとなく胸を打つものアキラと云ふ」
 こわいの言葉はギターとリラ楽器あまり
 は音楽、しりてはギター音楽とは左にか
 とりう問に對して、左んふかの暗示をち
 ゑてくれりると思ります。

ここにこりしてギターとリラ楽器を手に
 して奏つてまた昔人の妻たより深くギ
 ターとリラ楽器としてさうにギター音楽
 さうたは音楽芸術とりうものさ追求して
 みようではありませんが、としてこの小
 さな楽器に夢を託して一生ギターを恋人
 として手もとにひきよせてりこりではあ
 りませんか。



— おわり —

「プロレスショウ」 尾川長若 (65)
 「日本のギター」 岸田アロは山山いる
 その次にセミ・プロバいてそのまた下に
 素人がいる。プロとセミ・プロの間の実
 カの隔ちは相当なものである。私はセミ・ア
 ロの段階だが、プロにまでなるには大変
 だ。しかも日本のプロには迫力がない。
 し彼は、好物のバナナを食べながらこう
 言った。

後藤順男、三イムオ。日本映画新社勤
 務、東京、高円寺の雑居ないますパートに
 可愛しい奥さんと二人で住んでいた。

私は彼と同じ会社へ勤めら兄の紹介で
 彼にギターを習っていた。弟子は私一人
 週一回、彼の登でも賄い細帳半のアパ
 ートで、ギターのレッスンを受けていた
 彼のレッスンは厳しい。毎週日曜日が
 その日だったが、五、六時間はぶっ通し

である。彼が気に入るまでには同じ箇所を
 何回でもやらせる。最初の頃は、僕の自
 己流の弾き方を直すのに苦勞した。『奏
 術』というのは「形」だ。能などはその典
 形的なもので、あの「形」のバランスが
 くずれたら奏術ではない。ギターも同じ
 で、きちんとした「形」がある。ギター
 の持ち方や左手の置き方、右手指のあて
 方、それぞれみな「形」がある。それが
 基礎というものだ。『これが彼の持論で
 あった。私は、この線に沿って努力した
 左手の指は指紋がなくなり、代りに弦の
 跡が出来た。指の間の筋肉が痛く、もう
 やめてくれと言いたくなる程だった。
 このようにして三カ月程たった。彼はど
 うも羨望を懐かぬと言った。まるでド
 タグツが歩いてゐる者だ。そんなギター
 を持っていては決して上達しない。第一

音に対して無神経になる。というわけだ
 なるほど、確かにそうだ。私の八ヶ月の
 ギターでは、どう爪を当ててみても、ま
 らやかでいて鋭い、あの珠玉のような音
 は出そうにない。

それから一年程して、私はやゝとの思
 いで手製のギターを手にした。それから
 は、確かに上達が早く、たような気が
 した。

世の中では、習い始めは安価な楽器で
 という考えが支配的だがそうではない。
 習い始めのうちこそ上等な楽器を持たな
 なくてはならない。私はそう思った。

その日のレッスンは終ると私は、ギ
 ターについていろいろな話をするので
 ったが、いつかスペインへ行く話が重
 った。本当にギターが解るようになるに
 は、やはりスペインへ行くなくてはな

はじめて、彼が言うことは、多うい

ていた。何故スペインへ行かなくてはな
らないのか。彼によれば、ギターは昔か
ら日本にあったものではないからだ。私
もこの考えには賛成した。悲しいことだ
がイエペスやセゴビアのレコードを何回
聞いてみたところ、本当のギターが解
るはずはないと思えるのだ。しかし、日
本に居たら本当のギターの心が解からな
いからといって、彼がギターをやめたか
というところではない。彼は会社をやめた
た。そしていま彼は名^や屋で気楽に写真
屋をやりながら、やはりギターを弾いて
いる。

No49
セミ・プロである彼の最も近い目標は
スペインへ行くことではなく、プロにな
ることだった。サラリーマンをしていた

のでは、プロにはなれないと思っただ
らう。

プロを追い越したら、貨物船でスペ
インへ行くといい。私は彼が現代の日本と
そこにあるギター界に対してある意味で
抵抗しているのだなと感じた。そして迫
力を感じた。

トピックス

われわれの大先輩である越川さにこのほど
ギター部ではじめて赤ちゃんが生れる
とのこと。ただいまお奥様は里帰り
中とか。はたしてどんなな赤ちゃんか生れ
るか楽しみです。但しあまり先輩
に似たりようおりのりりたします。

ギターの豆知識 ⑤ その1

ギターの選り方

- 各部を叩いて見る。そして濁音はしないか？
- ネックがまがってないか？---楽器を手にとって、指板をずかして見ると大体わかる。又、1フレットと12フレットもしくは19フレットを同時に押さえて、絃が平均して各フレットにつかない時は、ネックは内側にまがって113なのである。
- 指板と絃の間隔は適当か？
- フレットがたろきかはしないか。---フレットは細目で色り方がよい。
- フレットはなめらかであるか。---フレットに角があったり表面がガラガラしてると運指も困難であり、より音が得られず。
- 糸巻はスムーズに回転するか。---固すぎたり、カクついてると調絃に甚しむ。
- 一絃の方の指板は十分な余裕があるか。---指板に余裕がないと、一絃を押さえる時、絃が指板からはがれる恐れがある。
- 各絃の間隔は適当か。---せますぎると押さえた指が、他の絃の音を妨害する。
- 音がハッキリとはしないか。---ハッキリするのは絃が震動した際、他のフレットにあたるからで、大抵の場合、ネックがまがっているか又はフレットの高さにむらがあるかによって起きる。開放絃がハッキリく時は、ナット(手受け)が低すぎるとある。
- フレットは19箇所あるか---ギターは19フレットが標準で、これは絶対条件である。

その他ギターの絃の張りの弱きギター、強きギターがある。張りの弱きギターは押絃は楽で「ムキやすさ」が、ダイナミックな演奏にはあまり面せぬ。これと反対に張りの強きギターはスチールの大きな演奏が容易である。これは各自の好みが主である。

しかし、選りた張りの強きギターで練習した方がよりと個人的な者であるか考える。楽器を選り上の最大の条件は向と云っても音色、音量、正確な音調と云うことが出来る。

これは経済的なことと云ってしまおうか。やはり機械製品より手工製品の方がよい。機械製品の場合はたゞたゞその楽器の値段と比べて見れば、もし機械製品のギターを買った場合でも、カットギターで最低5000円以上のギターを買った方がよい。半手工品のギターもたゞたゞ7000円位あります。

げしギターをちゃんとした楽器としてあつたにはやはり手工品でたゞたゞ3万円以上と云うことはなる。一生ギターを手にはよるとする人はやはりこれくらいの物を買ってほしいと思ひます。

同じ手工品でも日本のギター製作者が「つくったものとスロインをはじめとしてその他の外国製品とくらべてやはり音色において差があります。吉ギターアンサンブルにも河野賢、野辺正二、中出阪蔵、中出六太郎、稲葉征司、ホセ・ラミレス、イストレリッチなどがあひます。

同じ値段でも、たとえ違つても人間がつくるものであら出来不出来があり、かつて作りかたでも、おもしろいギターが、あります。初心者には先生又は先輩などの助けを得て選りてくだされ。最後に皆々から、おすは「S」ギターで、おすは「S」演奏を、おすは「S」下エテ、おすは「S」おねがひます。

(H.M. 記)

(本文の一部にギターの小辞書からの引用をいたしました。)

可学生ギター連盟について

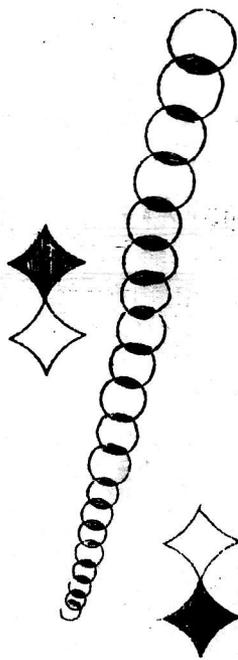
神奈川学生ギター連盟委員長

工全四年 村と登生

神奈川県学生ギター連盟は現在、横浜国立大学、横浜国立大学、神奈川大学の三校から成り立っています。齒科大学にも加入をすすめているので、今年には加入し四校となるかもしれません。又、学生ギター連盟は大学間の単なる連絡機関であってほしくないと思います。県下のギター界を学生ギター連盟でリードするのであるという事を、十分に認識して盛り上げて行く心構えが必要だと思つて居る。申す申すは神奈川県学生ギター連盟の名に恥じないよう、県下すべての学生ギターリストを加える大きな組織に発展するだらう。科外的に見ると今や学生ギター界はある方向に大きく第歩を踏みだして

ています。

それは関東学生ギター連盟、東海学生ギター連盟、関西学生ギター連盟、厚舌ギター連盟（東京）、京都学生ギター連盟それに我々、神奈川学生ギター連盟の六連盟が連絡会議を行い、総括して全国学生ギター連盟を結成しようとお動いていることです。結成のあかつきにも我が神奈川県学生ギター連盟がその位置を確保するために各大学それぞれに十分努力を断々と自他共に認められるように努力しようではないでしょうか。



▼我々の生活は、それを分折してみるとおもしろい。過去のすべての生活体験が現在の生活を規律している。そして、過去から現在に至る生活体験は近い未来の生活を設定する。それだけではない。近い未来の生活が設定されたら、それによつて現在の生活が規律される。近い未来の生活を「目的」と呼ぼう。目的のない生活は空虚である。目的に缺つて現在を現釋することは窮屈であるが充實感がある。時の経過を伴つたかけがえない価値を見出す。▼一

クラブ活動と目的意識

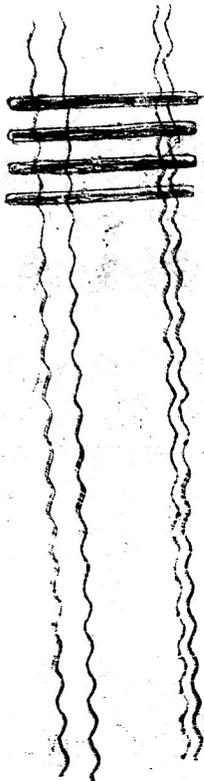
賢四 川 本 功 三

一つの目的に向つて多人が集まつたものが集団である。集団の目的はその性格によつて決まる。そして目的に沿つた秩序が生まれる。各人が秩序を守ることによつて目的は達成される。その過程が集団生活である。

目的のない集団生活はあり得ず、目的のない集団生活に秩序はあり得ない。集団自体が目的を失えば無秩序となり、集団の中の各々が目的を失えば疎外感を味わう。▼我々の集団、ギター

クラブの目的は何か。それ各人の 点の置き方によつて異なるかも知れない。しかしアンサンブルを頂点とする秩序、構造を思ふ時、その基的は目的は、アンサンブル特質に求めざるを得ない。人では創世ない音楽を他

協力によつて創出すること、これら別の音を出しているのに、それがピタリと調和して、ここに完成する。ここにおいて団の中の自己を見出す。アンサンブルにとつて自己というものがかけがえない存在であることを理解する



目的が達成された瞬間の価値ある充実感を味わう。自分の内に向ってほ喜びを感じ、外に到しては、そのような自分の存在を手に入れたい他への感謝の情を持つ。音楽においてピタリと調和しておごとく完成されたと同じく、人と人との情もまた完成する。音楽性、テクニック以前の課題である。▼我々はクワイブ活動に参加する時、何よりまず目的意識を持つことが重要である。目的意識が乏しくしてクワイブ活動はあり得ず、充実感もまたない。我々は梅いのかい入学生活を送りたい。卒業後より逸って、厚肉に、クワイブ活動に仲間との友情交換に、自分の人格を完成させるべくありたいのエネルギーを傾けた。自信を持ってそう言える生活を送りたい。そのために何事も目的設定が大切である。

トピックス

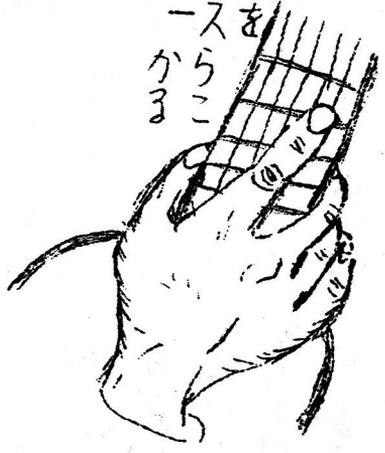


このころ我が部でも時々ならダンスブーム。昨々た三上まにかつては目玉みはるものがある。あまり格好がよくないのに、一、二、三、と。なるとか女の子にも、ようとなみなみならずこの努力、ほあかりでしよう。

“ギターの豆知識” (その2)

◎ 楽器の取り扱い方.

1. 楽器は弾いている時は決して破損するものではないが、ケースに入れたり出したりする時にフイキズをつけるものびす。ギターの出し入れは必ず左図の如くに楽器を握って扱うべきでしょう。



次に注意すべきことは、ケースに入れたら必ず蓋が閉かないように金具を掛けておくことびす。金具を掛けずに置いておくと、うっかりそのケースを持ち上げたりするとギターが中ころがり出してひどいキズをつけとがありますよ。

2. ギターにはひどい湿気と、ひどい乾燥は禁物であります。梅雨期は天気の良い日を待ってケースを日光に当て湿気を除くことびす。冬期にはストーブのそばに置いたり、室内をあまりひどく乾燥させないようにすべ

さびしょう。特にスチームの場合は気をつけてください。弦巻機には時々機械油をさすことびす。練習が終わっても弦をゆるめる必要はありません。

◎ ギターの弦について.

昔は高音三本がガット(羊腸弦)、低音三本がシルクセニター(絹に銅線を巻いたもの)であった。現在はナイロン弦の時代である。巻線には銅や銀特殊合金があり、それぞれ音質が異なるから、各自の楽器に合った弦を選ぶ事が必要である。又、同じ製局の中にも不良品があるので、充分注意しなければいけない。弦の良否は震動で見分ける事が出来る。楽器に正常なピッチで弦を張った後、それを撥

いて見ると、不良弦は震動にむらがあり、良い弦は綺麗に二本に分けて見える。



良



不良

ゲージ(太さ)が平均していないのは問題なく悪い粗悪な低音弦は張るとすぐに巻線がずるずるにゆるむ事がある。

ピッチが正確であるかを試すには、12フレットのハーモニクス之音とそこを押えて出した音が同じであるかを調べれば大体わかります。



へみん父の声

ある投票より

演藝会開催の援助として何枚かの券を強制的に部員の自己負担とさせることに少々感じてゐることがあり、それについての私のくだらない意見を先輩方々に聞いていただき、善処されることを望みながらペンをとります。

もちろん私は演藝会開催の爲の援助として部員全員で券を売る事に反対してゐるのではありません。ただ、その券を割り当てる方々に少々お願いしたいのです。部員の「経済的事柄」を考慮していただきなのです。部員の中には授業料を自分のアルバイトで出している人も居るのであります。一日五拾円しか小使いのない人も居るのであります。その人達に千円以上の負担を

かけさせるのは酷では無いでしょうか。首柴会入場券割り当て分の「金」が無いのでクラブを続けてゆかれぬ。クラブにばかり「金」がかり、生活してゆくことが出来ないうち、専断、他のクラブではこのように言つてクラブを去つた人が居ます。このような事になつて良いものでしょうか。

「券を売ればよいではないか」とおっしゃるかもしませんが、もしそう簡単には券が売れるものでしたら私はここに投票などはしません。これからも首柴や市大等の券、又は我がギターアシサンブルの定期演藝会の券を販売する時がありますが、部長以下部員の皆様に以上の事を御考慮願ひ、良策をこのじていただければ幸いです。

一部員より

編集部より皆様へ

ギターアンサンブル機関紙「不狂和音」では今後部員皆様の為に、
「みんなの声」という欄を設ける
ことになっていきます。

そこで先輩方々の近況報告やクラ
ブに対する意見その他なんでもお
っころです。どしどし原稿をお
寄せ下さい。尚先輩方の住所録
を作成したいと思っております。
先輩方にはまずことに御面倒と思
います。が職業紹介すべしほらし
るオオメさんをお知らせし、らる方は
オオメさんとのなれめと名だような
事を言いつ下されば我々としても喜
びです。最後に次号にもどしどし原



稿をお寄せ下さるよう御願ひ致します。

文芸欄

人間の壁

大石 秀夫

この作品にあつかわれている時期は昭和三年から翌年五月頃までの間である。S工具、津田山市が中心の地域として描かれ、その時期におけるS工具の政治的、経済的な位置と条件が始めに述べられてゐる。国全体の政治情勢もこの作品のあちこちに適宜にきわめてドクメンタルな手法で突觸されてゐる。

福山―石橋―岸を通じて一環する教育基

本法のおしくずし、骨板を政策、教育行政の中央集権化のプロセスも赤い糸のようになん編を織つて浮びあがるように描きぬかしてゐる。どういふ大まかやういふ生々しい政治的、社会的背景の上で尾崎ふみ子という一人の女教師の生活と思想とが描かれてゐる。作者はS工具を組織の組織力の弱い地域として描き始めてゐる。そして尾崎ふみ子も教育員組合に對してまゝの用心がうすく、始めは「組合」というものを所となくいやなもののように感じていた。教師として奮然させる。そういう女教師が累財政のシワ寄せによる教育予算の削減の為の犠牲として屈辱を受けける。彼女自身との離婚の危を予感してゐるが自分からの生活を守る為にも退職するわけにはゆかぬ。

そのとき組合の力によつて退職拒否の為

の足場を築くことが出来る。そこに於て始めて彼女は何組かの存在意義を知ると共にその主張が他人の生活を守る為のみでなく教育そのものの意義と主張も守る為のただ一つの組織であることを知る。離婚したふみ子は也がて妻に死なれた一人の教師を教育者としても尊敬し男性として慕う心を台覚するようになる。しかし彼女から結婚を止められた時彼女も深く考えやはり教育の理想を守つてゆくことと、家庭生活とが現在の段階では甘かたか一致しがたいものであることを思いおきらめ結婚の幸福を断念して教育員組合運動へ専念するコースを送る。

そゆうふうにな長してゆく女性の物語を中心にしてこの一編は構成されてゐる。この話には教多くの向題が掲げられてゐる。

尾端のみ子は自分のクラスの中の貧乏で本モノトも買えない生徒に対してのみ鞭打るのである。

教師は生徒の家庭がどんなに悪い環境に置かれていようが、親が教育に専心し、のり固心であろうが、干渉は許さぬ。生徒は単に学校だけで教育されるものでない。その家庭にまつて見の悪い、伏せでなければ無理にいたすらせざるも出来る。

彼女は親達の学校一本やりに苦勞をこめなければならぬのであった。そして彼女達は教職員組合と勤労者と少くも交りの休暇闘争へと進いやられる。自分の生徒達に見られた時を思つて身重に感じながらも闘争に参加せざるを得ないのである。

しかしこれに対する周囲の批判や...



無題

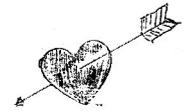
長女希望

月 日

もうクリスマスカ。励ましのプレゼントに
 カードをもらって早や一身。彼女ど
 うしているのかなあ。手紙も出さなけ
 と、遠く離れていふこと、それは別れを
 意味するのではなからうか。夜間、高校
 時代の友人宅を訪ねる。相変わらずのお
 シヤマだ。二人だけで踊るダンスも、又
 秘別なり

月 日

この大夢に行つていふ同級生が訪ねる
 ヤア、パイオースレ。話はずま。た。
 さつそく一杯。二杯。酒に二杯。飲
 んで……。友を持って……。かますばらし



い友を、何でも譲りる友に。

月 日

中学時代の親友と語る。賢かつた師
 匠力のあつた彼、女性にもてた彼。今
 昔の面影もなし。ただ任事し追ひる彼
 仕事は甚しむを訴えていふかのよう。
 自分のめまりにも恵まれたは環境を
 気付くとともに、環境を作つてくれ
 に感謝す。

月 日

帰る汽車で息子と偶然一緒になる。
 るで恋人に再会したかの様。二人並
 座り、オーバールをかける楽しさま。
 行きがりの恋にしほし心痛む。

月 日

恋人からの手紙。啄木を大好きは
 ふるさとの山に向いて言ふこと

ふるさとの山はありがたきかたか
山の手の山を思ふかごとくに
かたしき時は君を思へり。

女、女か。女は俺を一生悩まし養育
ける動物なのだらうか。女、女、女。自
分は何を求めるといふのか乳着をか、肉
体をか、それとも友をか。

月 日

思うがままにパンを走らす。

さびしさに窓を閉け、空を見る。

真冬の、真夜中の風が首筋を通り抜け

る。

君と語りしあの口の窓也

ああ、君よ！ やさーかった君よ

呼べと叫べど君は返らぬ。

悲しみに窓を肉の鐘見る。

いつか写った二つの顔と顔

今はなき君の顔は写らず
一トさびしく我が身を、髪を見る。

呼べど叫べど君は写らぬ

あわれみに鐘置きパンを取る。

いつか書きし君への手紙

今はなき君の名を何回と書く

ああ、君よ！ やさーかった君

呼べと叫べど君は帰らぬ。

月 日

思慕う、心のあまりの激しさに、

今夜も眠れず、かたく目を閉す

月 日

後期試験も始つた。↑人事を尽して

命を待つと窮んで受けたものの、

りの不出来におも真暗。女とはこわい

に。恋人からの一通の手紙が二人

そのせいか！首且の愛は、とてものではね
飯女の足袋もずいぶんと知ってゐる。

俺は飯女と本交に愛してゐるのかね。

月 日

さねめずらしり

子にまだ驚くのみ。新宿のネオンがひと

びつくりしたなまう。あまりに変わった振

556年ぶりに二人の女性とバツタリ。

バラ色の空：レ。夜ある会に出席す。

二人で歩く東京はずばらしい。東京の空

水てか、静かさが異様に感ぜられる。

会いたい——と思つては気が持が逐げら

飯女の手帕トへ。静かだ。

月 日

おもいでのみ

おもいでのみ

かに くに波民村は恋しかり

気も晴らしてくれるとは。

に自分に興い物を求めあう……。

あてはまらざりし。なるほど異性互い

い。そういえば女性に度胸という言葉は

モウナイはどうやら顔だけではないらし

というのだらう。右えるに男のモデル、

のどこが……。これを称して恋は盲目

ださう。し全く泣かせる。俺みたいな男

ける物で欲しい物があつたら知らせてく

最き必要とするものでない？も身辺に付

のに○月×日だ。たじやう。あなたに

「あなた誕生月×月×日」と思つてた

それにしても熱心に手紙を送る女性だ。

たちがよさそうだ。彼女より手紙。

月 日

本交の愛ではないとか。

いでこそうにない、別腹と思れる愛は

日 日

「恋愛は人生の秘やくほり。恋愛ありて後人生あり。恋愛を拘き去りたらしむには人生何の色味かあらむ。」

彼女にうかれる今日今頃、大学生として、社会人として果たしてこられて……

日 日

兼好

夏の幻霧が僕の視力を聴かせ、味覚を鼻覚を惑わす、目には映るものすべて黄金のごとく、身に入るものすべてで、エニジウのゴトし、口に入るものすべてで、シルクイ子ゴのゴトし、鼻に感ずるものすべて、君を鼻う香水のゴトし。

日 日

「よろブにいみじくも、色ニのまがら、お前はいとさそぐ、く玉のさかづきのと、なきニコちぞすハキ。」

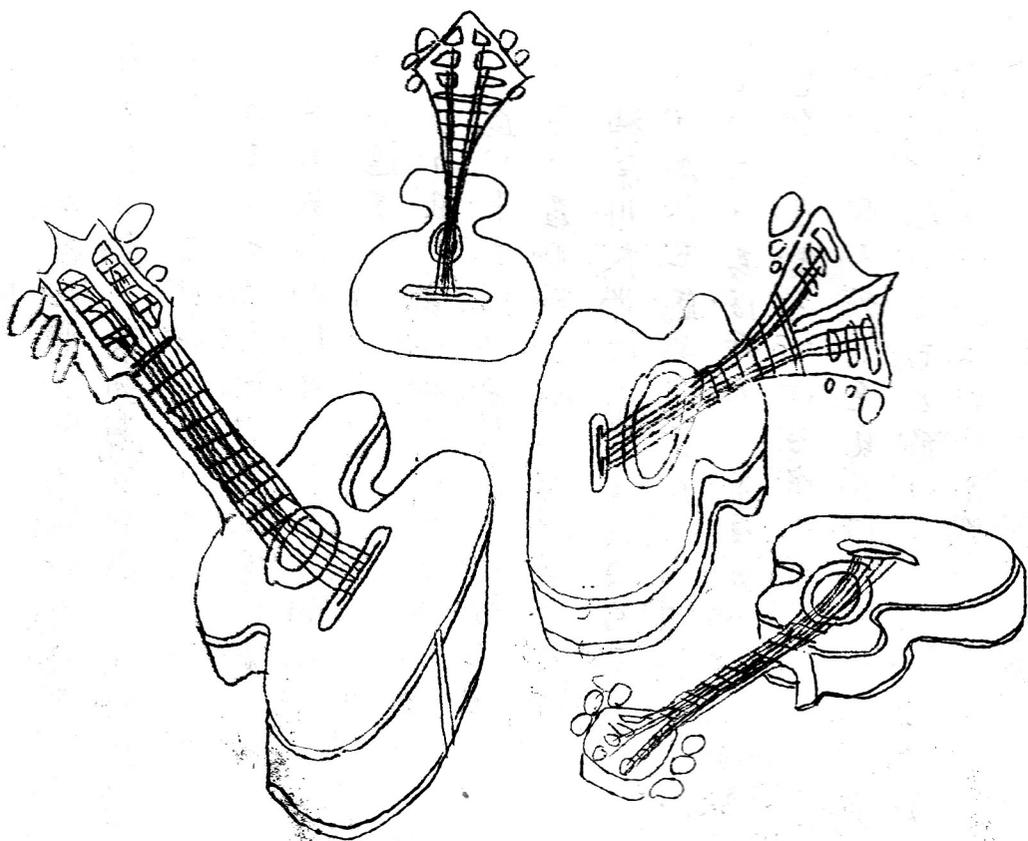
兼好法師

日

「わが受する者は白くかつ紅にして、万人の上に越ゆ、その顔は黄金のごとく、その後はふさやかにして、黒きことからず、ごとし。その目は短川の水のほとりに、る瀧のごとし。乳にて洗われ、美はしくはまゆり。その頬は、かぐはしき花の赤のごとく、香草の壇のごとし、その唇は百日花のごとくにして、浸葉の汁を、たたらす。君の髪よ、なんぢの足は靴中に入りて、かにかに美はしきかば、汝の脛はまるかにして、玉のごとし、巧匠の手にて作りたるごとし。なんぢのほそは美酒の缺くることあらざる、圓さ杯のごとく、なんぢの腹は積み重ねたる、李のまわりを、百日花もてかこめる如し。なんぢの西乳房は、牝鹿の雙子なる二つの小鹿のごとし。なんぢの頸は象牙かやぐらの如く、なんぢの頬はハシガニにて、ドテラビムカ

内のほとりにある池のことく……。

「愛とは、恋愛とは何ぞや」といふことは、
 人間とはひとむずかしい言葉で論ずる前
 にさあ恋をしよう。ムージックンでは得ら
 れない何かがあるはず、ここでへ言。ど
 二かの学校のオカメ、弱能な女性にそれ
 を求めて恋をするのなら、果して「何か
 」がその恋の中から見い出せるかどうか
 保証はし兼ねる。」



ギターとスクリーン

不狂歌者、初版発行に際し、私のよう
 ぼろに何かが書けとの事、この事、今や
 執筆をせざるか否かの怪しい愚考の貴重な
 場面をさいて何か書いておまつと思ふ。

今、君の眼の前のスクリーンに展開し
 ているのは、アメリカはあな面都の街、
 たそがれの途、た酒場の片隅で一人の料
 花カウボーイがギターをつまびきながら
 唄っている。優雅でなんとなくもの悲し
 く、郷愁をさそうような、甘くやわらか
 なそのメロディ。うっとりとして手まほ
 れている街の人々。

ほら、その中にいるヒロインの美しい
 娘の眼は、かすかな愛の光さえ宿してい

るじゃないか……。

いつしか君の胸の中を甘い哀感がかげめ
 ぐつている。映画画館を出てゆく君の顔
 スクリーソンのヒーローをくくりだせ。

ロマンティストである君はあの甘いム
 ードのあふれたシーンに、何度も何度も
 思い返す。

次の日、君は少しためらひ、そしてお
 小遣いを手に、楽器店、目指して歩いて
 いる。君のおき恋人を選ぶために……。

神奈川大学に入学した日の君の目にク
 ラブ加入を進めるたくさんの人々が写っ
 ていた。君は幸か、不幸かへんな勇進が
 どうぞろ集まっている中にギターをコンサ
 ブルのポスターを見つけてる。恋人を裏切
 らないためにとも思ひ、しかたなくギタ
 ー部に入ってしまった。

こういふ人がいるかもしれない、新入

生諸君の中にも。そゆえばムードを生
む楽器 Gustar はしばしば映画の中に登
場して来ましたネエ。

数年前の「金色の眼の女」の中では、
主演のマリト、ラフォレの美しさ以上に
ナルシソ、イエペスの名演奏が印象に残
っています。彼の「禁じられた遊び」は
言うまでもないことです。

「血と砂」ではリダ？^{アム}とかいう奴
で、ビセンテ、ゴメスのあの魅力的なス
パニョシユギターを聴ける事のできない
ものです。^{アム}大陽舞の「ぱい」赤と青
のブルースでは、マリー、ラファエレが
ギターをつまびきながら唄っていたし、
黒いオルフェでモオルフェの弾くギタ
ーの調べ。「アラモ」ではフランキー、
アバロン、プレザンシーの映画にもギタ
ーは切りはなせません。

ブリジッド・バルドーは「私生活」でオ
ードリー・ヘッパバーンも「ティファニ
ー」で朝食を、でギターを弾きながら唄っ
ていました。

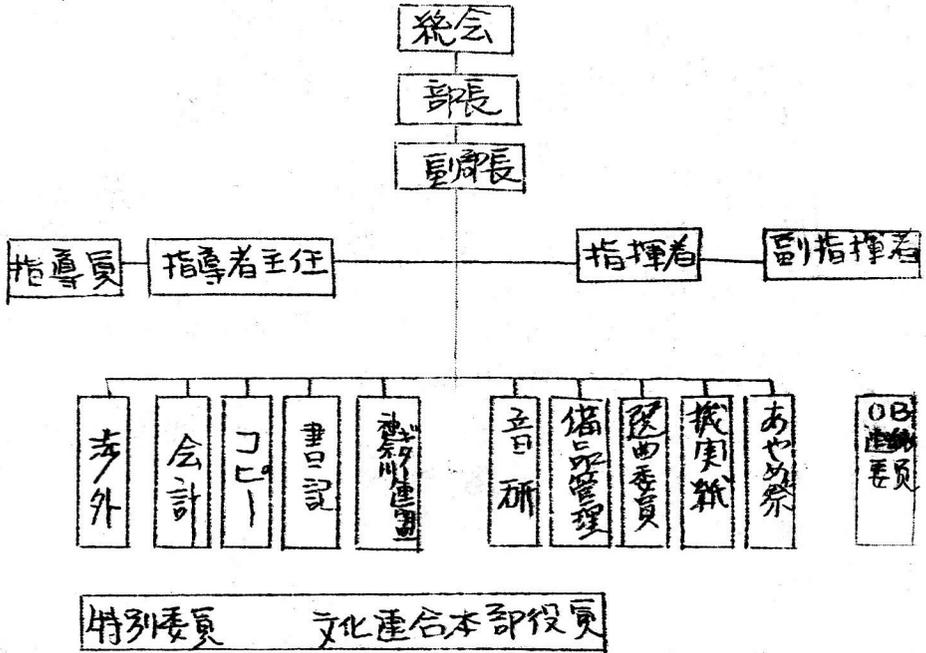
こう書いてみると、君達私がおほど
ギター好きに思えるかもしれない。

「ひどいね！レディにはもつとやさしく
するものよ！」と、君達にはこのよらな
ことがないうように、毎日、あの美しい曲
線を描いている彼女の身体を優しく抱き
かかえて、愛情をもって奏でてもらいた
いものです。そうすれば彼女も君の愛に
こたえて、素直に思うまま現れてくれる
ことでしょう。

おしま

神奈川県大学ギターアンサンブル組織

N062



昭和42年度 神奈川県大学ギターアンサンブル役員名簿

- 部長 桐ヶ谷 繁
- 副部長 新堀 明雄
- 指揮者 小久江 迪雄
- 副指揮者 寺后 節男
- 指導者主任 小久江 迪雄
- 渉外 工藤 一夫
- 会計 竹村 正彦 奥田 輝彦
- コピー 鈴木 博 丸山 和子
- 書記 春田 孝光 勝俣 元子
- 神奈川ギター連盟 小久江 迪雄
- 音研 大石 秀夫 内山 静夫
- 備品管理 大石 秀夫
- 選曲委員 桐ヶ谷 繁、新堀 明雄、小久江 迪雄、水沢 浩
- 楽楽紙 水沢 浩、早川 2キ子、野村 典夫、橋本 治、成田 真
- あやめ祭 野村 典夫
- OB連絡委員 乃美 元宏
- 文化連合本部総務部長 山崎 安雄
- 神奈川ギター連盟本部役員 委員長 村上 澄夫、会計 吉田 静司

※ ・印は主任

アンサンブルの組織

6月10日の総会の決定により次のように決まりました。

- アンサンブルメンバー — は教則本の45ページ終了者のみにおいて構成される。
但し(一年生は全員アンサンブルに参加することが出来る)。
- 二年生以上のすべての部員において全員合奏を行う。

指導者 システムについて。

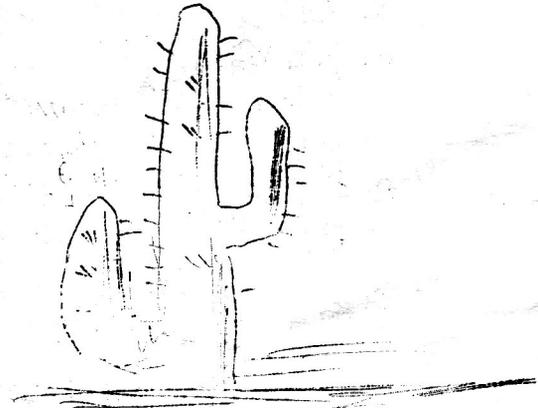
[指導者] ... 教則本 P73 終了にて資格がある。

[準指導者] 教則本 P49 終了にて資格がある。

[指導員] 指導者主任かその時の部員の数などにおいて適当な人数を定めて資格をあたえる。

指導者の氏名 (6月11日現在)

指導者	水沢 浩	石井知行	村上裕二
準指導者	鈴木 博	小久江迪雄	荻野泰久
	広畑 真	室岡 輝彦	
指導員	省略		



編集後記

スタックが決まり活動を始めた頭初は果して本当に発行できるものかと僕たすでさえ疑問を抱いていました。なにしろ初めての試みなりで向から何まで自分たすで企画せねばならず、又先輩の居所にしても私たすだけではわからなりのびぎター部の里ける下足である先輩に絶大な御尽力をいただいたさました。越川先輩の時などは、番地だけたよりにも菊名分の一時間余りを歩き回ってやっと思っけ、勇んでドアをたたいてみれば留守で暗り蓋をショボンと帰った事もありましたが日がたつにつれしだりに原稿も集まりいよいよ原紙切りになると、目安もつきスタック一回はリキ、夜を越くまでガンドリました。

(野村)

初めての機関紙発行のために最初、私を含む女子部員三名のメンバーが編成された。しかしその内の二名の退部により機関紙担当委員の再編成が行なわれ先輩一名を含む愉快な仲間五名となった。いまだんクラブをさぼりがちだった私が部室に顔を出すと、まるで機関紙のためにはクラブにきてみるみたといやがされたこともあった。とかくせったれが表面に出てしまふ私は機関紙の仕事をするにしてみてもこれは本当に反省してやる点である(が)忠実に遂行できたとはいり切れなりの点は機関紙の愉快な仲間が尽力のおかげで創刊号発行までこぎつけることができたことも深く感謝すると共に喜んでくれる。機関紙の仕事を担当する、ことによりクラブ員の知らざる一面やその人の意見などを紙面を通してではあるが知る、ことができたし、有息を絶つていた(が)我が大先輩とも紙面上の対面が出来たことは仕事に費した多少なりの時間の価値より、より大きな価値を持ったものであった。だろと思ひます。

(早川)

まず今回ギターアンサンブル機関紙の不
 和音が無事ここに発行できたことは
 すべて皆様方のあたたかい御支援の賜と心
 より感謝致します。機関紙発行までには
 田原での徹夜の印刷等数々の苦難がありま
 した。が、今はただうれしさだけが感じら
 れません。尚今回は初めての機関紙発行で
 多くのいたらなかつた点があると思います
 が、皆様のあたたかい御配慮をいただきました
 と思います。

(へん烟)

徹夜をこえて体がタタタタ、もう終り(巻末)

ここにギターアンサンブル機関紙「不和音」
 創刊号を発行できたことを皆様と共た喜び
 たりと思ひます。編集長として仕事にたが
 いか、アタマがスッタフが協力してくれ
 ておかげでスムーズにいったと思ひます。先
 輩は大石君、びっしり部長の皆さん、印刷に
 女たつた、感謝した、おかげで、次のとらさ
 期角し

(水天)

「不和音」機関紙「アンサンブルギター」
 NO.1

発行所
 神奈川県
 神奈川大学
 ギターアンサンブル
 研究会

編集人
 水天浩(電)
 早川千士(法)
 広畑真(英)
 橋本治(商)
 野村典夫(経)

昭和42年6月11日印刷
 昭和42年6月16日発行

非売品